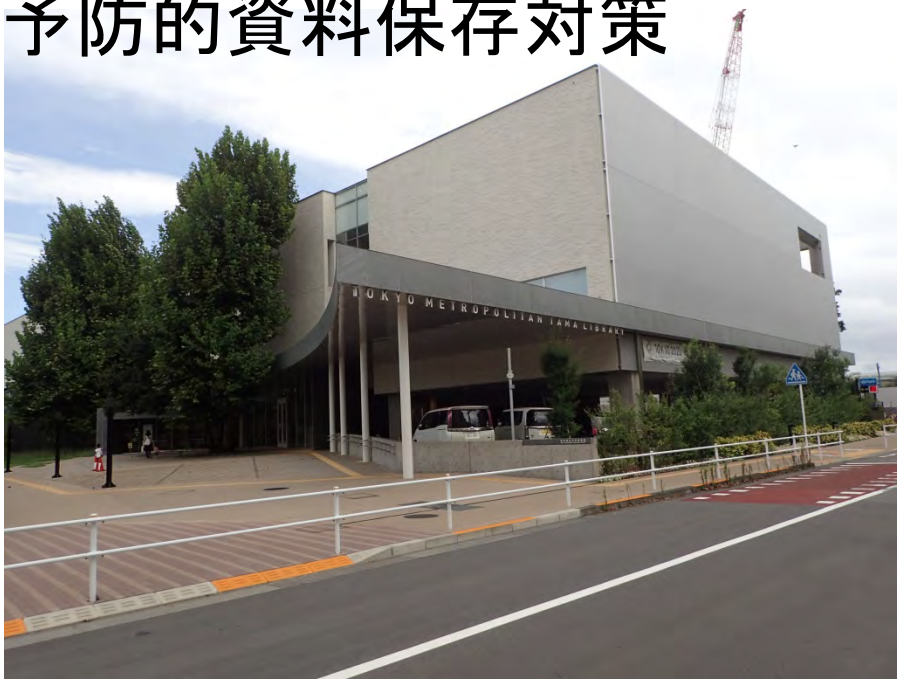
東京都立多摩図書館

施設からみる予防的資料保存対策



東京都立中央図書館
資料保全専門員
眞野　節雄

概要

- 平成29年1月　新築・移転開館
- 鉄筋鉄骨コンクリート　地上3階
- 敷地面積　7216．74㎡
- 延床面積　8982㎡
- 書庫収蔵能力　約285万冊（内開架約10万冊）
- 閲覧席数　227席
- 機能　雑誌の特性を活かした「東京マガジンバンク」と都内の子供の読書活動を推進する「児童・青少年資料サービス」

書庫の温湿度管理は？

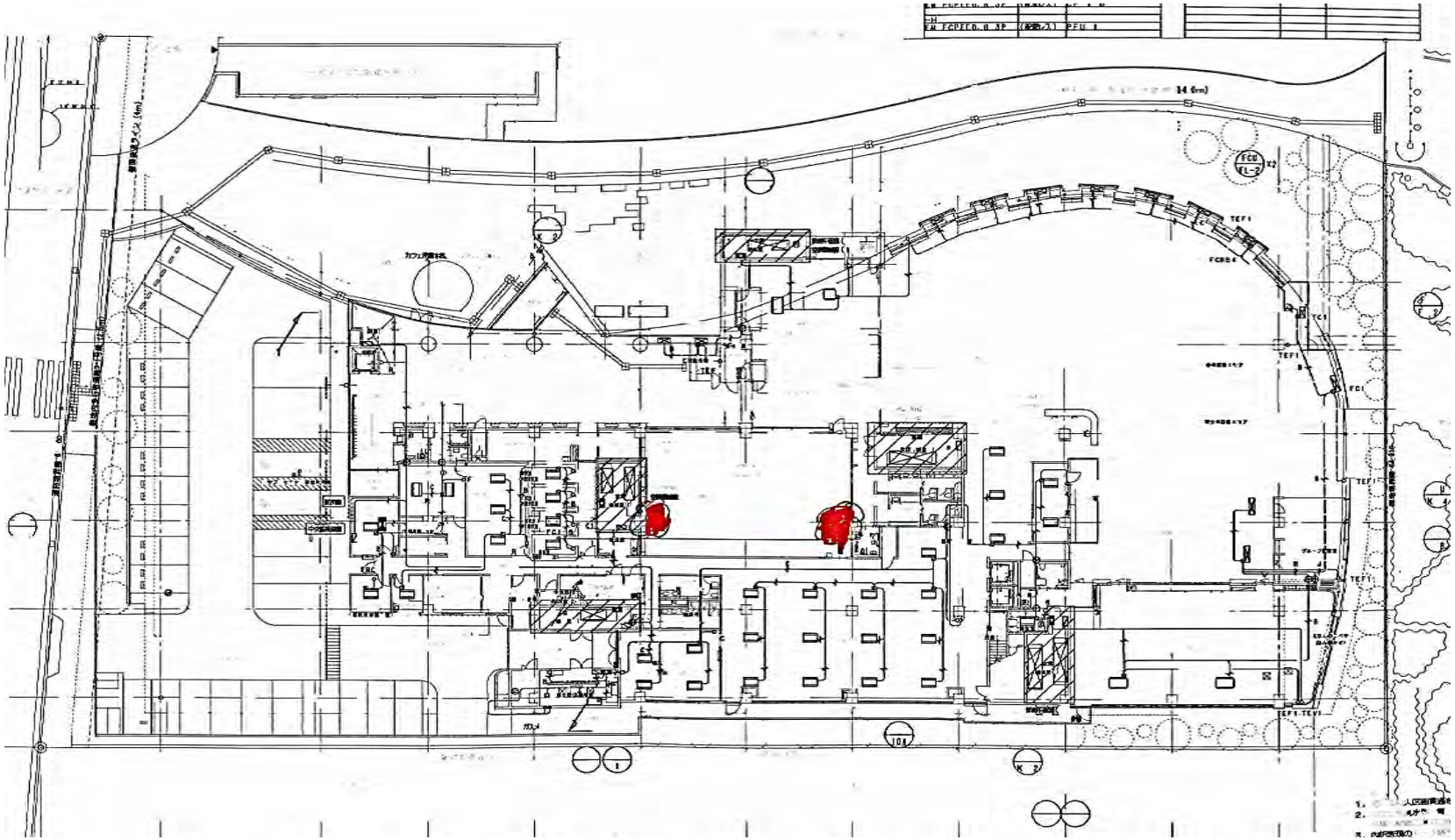
- ２４時間空調（間欠空調管理）
- ２０±２℃、５０±５％

- メインの書庫（閉架）は2階、3階。（災害対策にも）

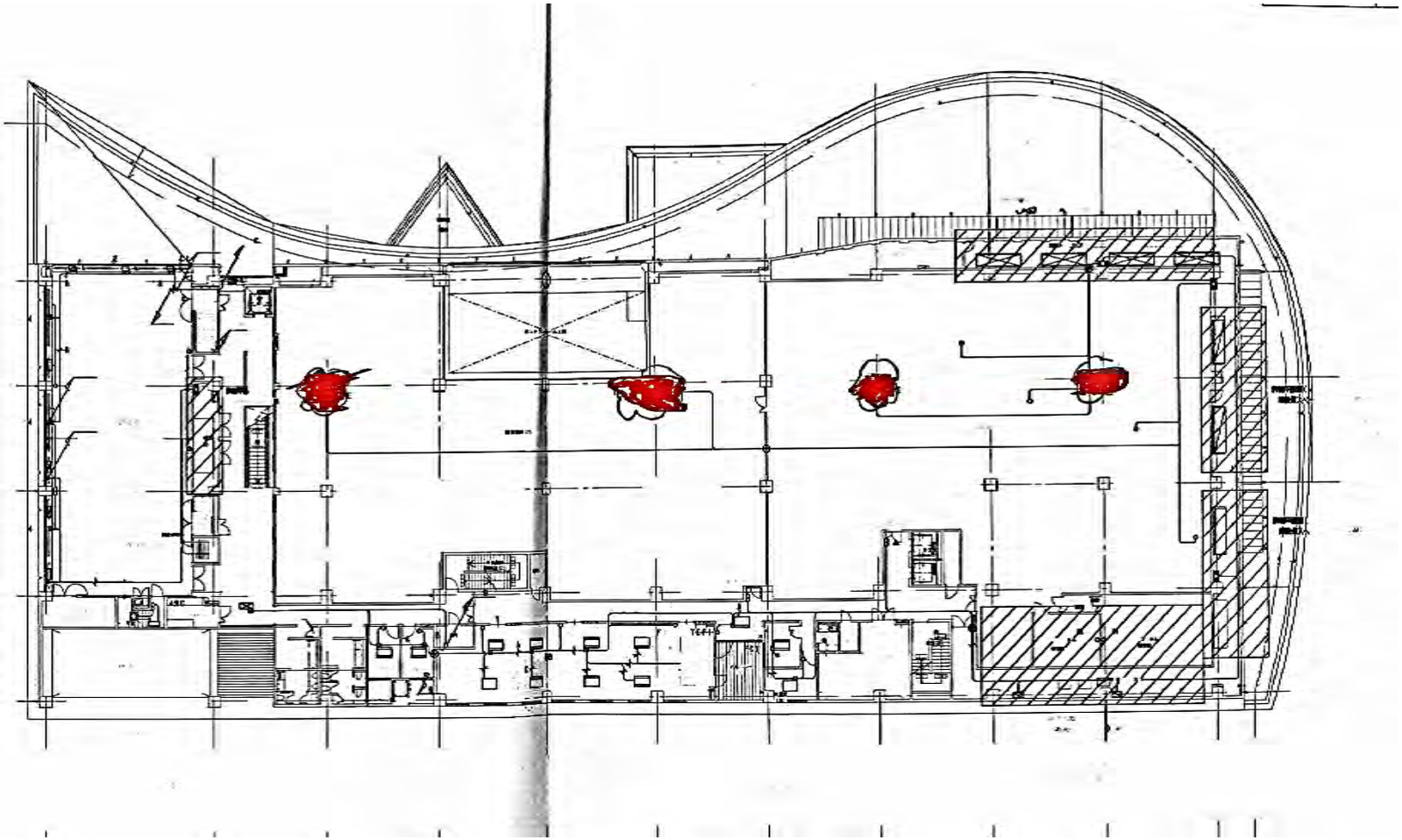
どのように管理しているのか？

- 各区画毎に1つ以上の温湿度モニターを設置。中央監視室で管理。

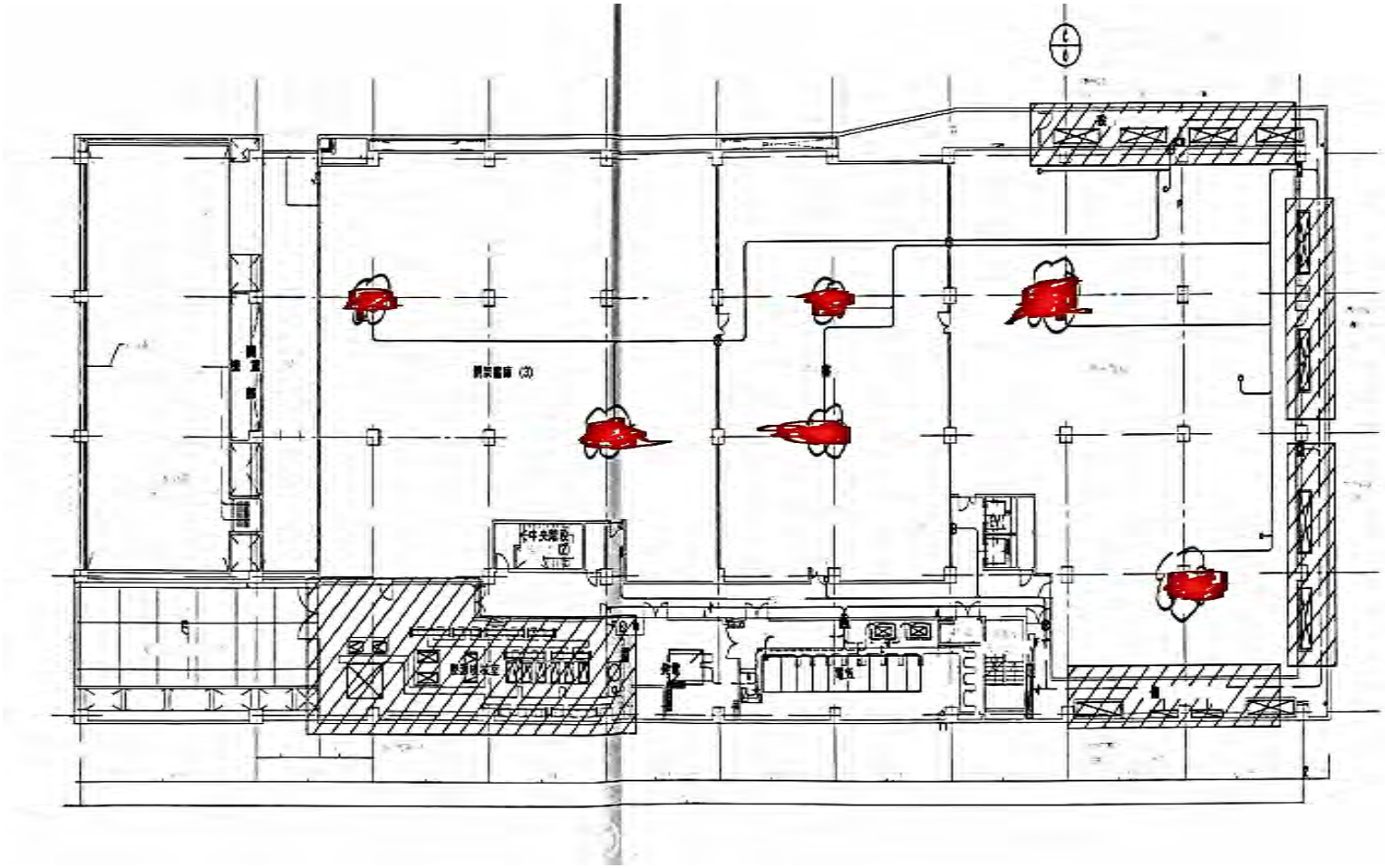
1階



2階



3階



フィルムは？

- 紙と保管条件が違うため、独自に温湿度設定している。

⇒21℃以下、35±5%（前室付き）

紫外線は？

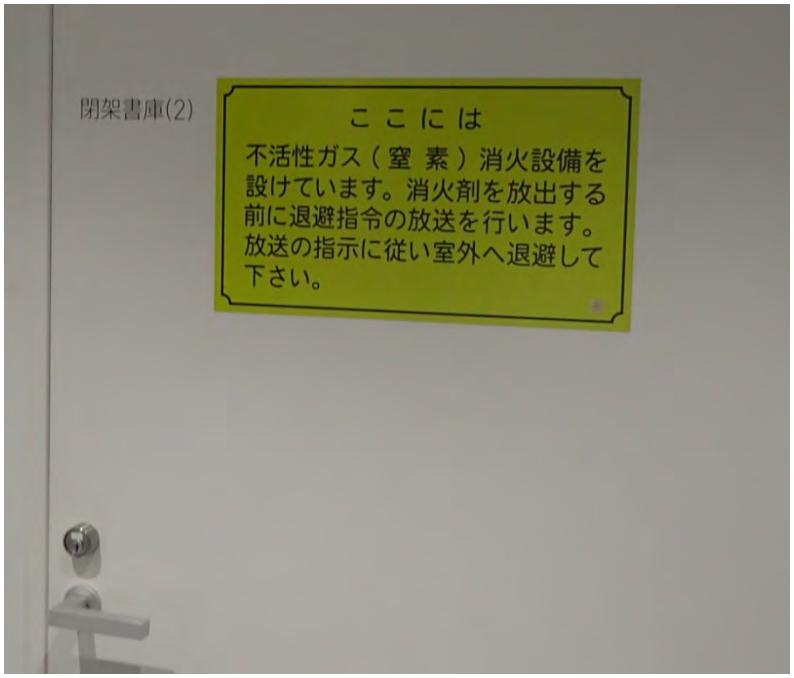
- 照明はすべてLED
- 窓ガラスにはすべて紫外線防止フィルム
（地震などのときに飛散防止にもなる）

その他①

- 消火で水をかぶることがないか？

⇒閉架書庫は窒素ガス消火

　開架スペースもスプリンクラーは危険なので、個別に消火栓や消火器で



その他②

- 書庫と外壁は接していないか？

⇒閉架書庫周囲には空間が設けられている。

これによって書庫環境（温湿度管理）を安定させ、雨など外部からの

侵入を防ぐ。

その他③

- ガラスの防煙垂壁が地震などの時危険だが

⇒使用していない。また、常時は収納されていて、火災時のみに降りてくる。

その他④

- 書庫の壁に「木繊セメント」
⇒湿度を調整したり、
アンモニアガスなどの吸着、
断熱効果あり。

補足（カビ）

- 書庫の入口に塵埃粘着マット

補足（カビ）

- カビ防止のための「啓発」ポスター

カビの原因は「あなた」かもしれません！

これは何？

これは B2 書庫入口に設置している使用済みの粘着マットを撮影した写真です。
四角い青いものが粘着マット、その周りにある線状のものがカビです。

カビはどこにいると思いますか？

正解は土の中です。
土壌１ｇにはおよそ数十万以上のカビが生息していると言われています。

あなたの靴底、大丈夫？

公園の中にある都立中央図書館。土がついた靴のまま書庫に入っていませんか？
きれいに見える靴底でも、カビの検査をすれば必ずといっていいほどカビは採取されます。あなたの知らないうちについてしまった靴底のカビ胞子。知らないうちに書庫にもちこみ、知らないうちにあなたが、カビの胞子をばらまいているかもしれません。

カビを運んでいるのは人間です

カビの胞子を書庫に持ち込まないことがカビ対策では重要です。
あなたがカビ発生の原因とならないよう、書庫に入るときには内履きを使用するか、それが難しい場合は、靴底の泥落としを徹底してください。

ご協力よろしくお願いいたします。

補足（災害）

吸水掃除機

冷凍庫

補足（災害）

被災資料救済セット

マニュアル動画「被災・水濡れ資料の救済マニュアル」（17分）

終

ご清聴ありがとうございました